



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
 コード番号 3223 URL http://www.sld-inc.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 玄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部部长 (氏名) 富来 美穂子 TEL 03-6277-5031
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,551	—	48	—	61	—	33	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	25.68	24.07
27年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成27年3月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の数値及び平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	2,079	951	45.7	733.24
27年3月期	2,034	916	45.0	708.84

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 951百万円 27年3月期 916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,521	21.9	273	34.3	285	40.0	169	46.2	131.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	1,297,280株	27年3月期	1,292,280株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	45株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	1,297,113株	27年3月期2Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、日本銀行による金融政策や政府による経済政策の継続を背景とし、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米国の金融政策正常化に向けた動きの影響や中国景況への不透明感の高まり、国内消費動向についての地域間格差等の不安要素もあり、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社は企業価値の最大化を図るべく、営業力の継続的な拡大・強化を目指し、認知度の向上及び顧客層の拡大に努めてまいりました。

飲食サービスにおきましては、大阪市天王寺区に「kawara CAFE&DINING 天王寺ミオ店」を出店するとともに、当社初となるフードコート業態にも着手、福岡市中央区の商業施設「天神コア」において、顧客の皆様よりご愛顧を頂戴いたしております「hole hole cafe&diner」、「SUNDAY COFFEE STAND」に加え、新ブランドとなる

「kawara KITCHEN」の3店舗を擁した「FOOD COURT +plus」を新規に開店致しました。当フードコートにおいては、当社が得意とする「カフェ空間の創造」をコンセプトに、ウォールアートや音楽、居住性を意識したインテリアを整え、従来のフードコートとは一線を画す安らぎの空間提供を実現致しました。この結果、平成28年3月期第2四半期末における総店舗数は63店舗となりました。

コンテンツ企画サービスにおきましては、当社のアライアンスパートナー企業である株式会社パルコとの業務提携契約に基づき、同社の直営飲食店舗「& éclé(アンドエクレ)」の開店における共同事業開発に参画致しました。また、横浜赤レンガ倉庫における夏期イベント「RED BRICK RESORT 2015」へのフードブース出店や、夏期恒例の自社主催野外音楽イベント「夏びらきMUSIC FESTIVAL15」の2拠点（大阪府豊中市、埼玉県所沢市）開催、第1四半期に引き続いてのビアガーデン施策積極推進、その他、アイドルタレント・海外アーティスト・食品メーカーとのコラボレーションメニューの提供等、当社の強みであるカルチャーコンテンツのナレッジを活用した事業活動を展開してまいりました。

しかしながら、当社主力店舗が集中する首都圏における夏期の天候不順や、新規店舗の出店費用等の影響を受けた結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,551百万円、営業利益48百万円、経常利益61百万円、四半期純利益は33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して45百万円増加し、2,079百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して204百万円減少し、746百万円となりました。これは主に新規出店等に伴う現金及び預金290百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して250百万円増加し、1,332百万円となりました。これは主に新規出店等に伴う有形固定資産164百万円の増加、敷金及び保証金77百万円の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して10百万円増加し、1,128百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して33百万円増加し、695百万円となりました。これは主に未払消費税等57百万円の減少、未払法人税等20百万円の減少、新規出店及びこれによる店舗数の増加に伴う未払金94百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して23百万円減少し、433百万円となりました。これは主に長期借入金33百万円の減少、社債9百万円の減少、資産除去債務18百万円の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して35百万円増加し、951百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金33百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、386百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果減少した資金は、9百万円となりました。これは主として税引前四半期純利益56百万円、非資金性損益項目である減価償却費60百万円があったものの、売上債権の増加19百万円、未払消費税等の減少57百万円、法人税等の支払額50百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果減少した資金は、219百万円となりました。これは主として新規出店等における有形及び無形固定資産の取得による支出143百万円、敷金及び保証金の差入による支出72百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果減少した資金は、60百万円となりました。これは主として短期借入金の返済による支出10百万円、長期借入金の返済による支出92百万円があった一方、長期借入れによる収入50百万円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容から変更はございません。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますので、ご注意ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,613	386,553
売掛金	144,433	164,287
原材料及び貯蔵品	30,346	33,377
その他	99,764	162,380
流動資産合計	951,158	746,598
固定資産		
有形固定資産		
建物	774,722	958,379
減価償却累計額	△289,393	△331,523
建物（純額）	485,328	626,855
機械及び装置	—	9,000
減価償却累計額	—	△643
機械及び装置（純額）	—	8,356
工具、器具及び備品	234,609	255,840
減価償却累計額	△151,155	△165,726
工具、器具及び備品（純額）	83,453	90,113
建設仮勘定	4,729	12,749
有形固定資産合計	573,512	738,075
無形固定資産	2,227	1,960
投資その他の資産		
敷金及び保証金	469,269	547,229
その他	36,747	44,855
投資その他の資産合計	506,017	592,085
固定資産合計	1,081,756	1,332,121
繰延資産	1,337	1,108
資産合計	2,034,253	2,079,828

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	101,398	114,859
短期借入金	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	150,255	141,168
1年内償還予定の社債	18,000	18,000
未払法人税等	57,829	37,185
資産除去債務	3,381	4,892
その他	320,595	379,038
流動負債合計	661,460	695,143
固定負債		
社債	36,000	27,000
長期借入金	317,006	283,912
資産除去債務	103,771	122,280
固定負債合計	456,777	433,192
負債合計	1,118,237	1,128,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,237	270,212
資本剰余金	253,237	254,212
利益剰余金	393,540	426,851
自己株式	-	△91
株主資本合計	916,014	951,184
新株予約権	0	307
純資産合計	916,015	951,491
負債純資産合計	2,034,253	2,079,828

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	2,551,448
売上原価	2,194,149
売上総利益	357,299
販売費及び一般管理費	308,770
営業利益	48,528
営業外収益	
受取利息	55
協賛金収入	14,737
その他	2,785
営業外収益合計	17,578
営業外費用	
支払利息	3,486
その他	1,619
営業外費用合計	5,106
経常利益	61,001
特別損失	
減損損失	4,672
特別損失合計	4,672
税引前四半期純利益	56,329
法人税、住民税及び事業税	27,673
法人税等調整額	△4,655
法人税等合計	23,017
四半期純利益	33,311

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	56,329
減価償却費	60,912
減損損失	4,672
受取利息及び受取配当金	△55
支払利息	3,486
売上債権の増減額（△は増加）	△19,853
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,030
仕入債務の増減額（△は減少）	13,460
未払費用の増減額（△は減少）	1,849
未払消費税等の増減額（△は減少）	△57,617
その他	△15,769
小計	44,384
利息及び配当金の受取額	55
利息の支払額	△3,380
法人税等の支払額	△50,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△143,276
有形固定資産の売却による収入	6,763
長期前払費用の取得による支出	△5,355
敷金及び保証金の差入による支出	△72,121
敷金及び保証金の回収による収入	10
その他	△5,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△10,000
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△92,181
社債の償還による支出	△9,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,877
株式の発行による支出	△1,276
自己株式の取得による支出	△91
その他	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,861
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△290,059
現金及び現金同等物の期首残高	676,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	386,553

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。